



おやつ通信 Vol.5

令和4年2月2日

各企業の様々な取り組み

今回は、各企業の取り組みを深堀します！世界の様々な団体や活動に加盟して行っているものや、企業独自のプロジェクトとして行っているもの等、様々な取り組みがあります。普段の私たちの買い物が、児童労働問題や地球環境保護活動等の助けになり、それが子どもたちの将来へ繋がっていきます。ぜひ、おやつ購入時には、このような企業もご参考にしてください。

1 FAIR CACAO PROJECT (フェア カカオ プロジェクト)



(株)ロッテでは、カカオ豆生産者の貧困や児童労働などの問題と、主力商品のチョコレート製造の為にカカオ豆の持続可能な調達課題として、持続可能なカカオ産業の実現に貢献する活動を行っています。活動は、地域指定購入による支援に加え、児童労働のモニタリングなどです。調達する地域を指定し、調達したカカオ豆に一定の割増金を上乗せして支払います。その割増金が、その地域における児童労働のモニタリングと支援に使われ、児童労働の発見と是正や地域の課題を明らかにして支援していくことを目的としています。これらで調達されたカカオ豆は、フェアカカオと名付けられます。



2 WCF (世界カカオ財団)



World Cocoa Foundation

WCFは、カカオ生産国において、持続可能なカカオ経済を促進し、経済的・社会的発展や環境保護を実現していくことをミッションとしています。また、カカオ農家自らが力をつけるための技術的指導や、教育支援を現地で行います。

加盟している企業は、(株)プルボン、(株)不二家、(株)明治、江崎グリコ(株)、(株)ハーシー、(株)ロッテ、森永製菓(株)ネスレ日本(株)などがあります。



3 国連 WFP 協会



国連 WFP 協会は、飢餓と貧困の撲滅を使命とする WFP 国連世界食糧計画を支援する認定 NPO 法人です。日清食品ホールディングス(株)、(株)ファミリーマート、コープ（日本生活協同組合連合会）などが賛同し、災害や紛争時の緊急支援、学校給食の提供などの支援をしています。

4 RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）



パーム油と
アブラヤシ

マレーシアとインドネシアにおける、アブラヤシ農園の急速な拡大による環境への影響を懸念する声が世界的に高まったことを受けて、マレーシアパーム油協会などにより2004年に正式に設立されました。パーム油は、西アフリカ原産のアブラヤシの果実から得られる植物油です。カップ麺、お菓子、パンなどの加工食品や、化粧品・パーソナルケア用品、洗剤、医薬品などの消費生活用製品からバイオ燃料に至るまで幅広く利用されています。問題となっているのが、新規アブラヤシ農家の増加による、畑造成の為に森林伐採や故意的な森林火災です。動物の生命に致命的な影響を与え、火災で泥炭まで焼き、多量の温室効果ガスが発生されます。これらの課題に取り組む RSPO に賛同する企業として、イオン(株)、日清食品ホールディングス(株)、(株)明治、森永乳業(株)、森永製菓(株)、コープ、キューピー(株)、マルハニチロ(株)、(株)不二家などがあります。

5 FSC（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）



責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利団体です。責任ある森林管理から生産される木材と、その製品を FSC 認証とし、多くの企業が賛同しています。森林資源を有効利用し、地球温暖化防止に貢献するため、環境に配慮した紙原料の調達を推進しています。具体的には、FSC（森林管理協議会）などの第三者認証を取得した紙原料や、再生紙などの紙原料の利用を拡大しています。

参加している企業は、味の素（株）、王子ネピア（株）、キリン（株）、三菱製紙（株）、森永乳業（株）、ユニ・チャーム（株）、雪印メグミルク（株）など多数あります。おやつへの購入に限らず、クラブで使用しているティッシュペーパーやトイレトペーパーなどの消耗品の購入の際にも、上記の参加企業の商品を使用することで環境保護に繋がるでしょう。



← 使用している商品には、左の写真のように
FSC のマークが印字されています。

企業の取り組みは、上記の内容の他にも商品パッケージに記載されている事があります。協議会として、未来を担う子どもたちのために今できることとして、これらに注目し、取り組んでいきたいと考えています。各クラブにおいても子どもたちの将来の為に、おやつや消耗品購入の際は、是非これらに注目してみてください。